

佐賀県研究成果情報（平成 22 年度）

黄緑色系ブドウ品種「ロザリオビアンコ」の無加温ハウス栽培における発芽率向上対策					
[要約]黄緑色系ブドウ品種「ロザリオビアンコ」は無加温ハウス栽培において芽傷処理とシアナミド剤（浸透性展着剤加用）処理の併用で発芽率が向上する。					
果樹試験場・落葉果樹研究担当			連絡先	0952-73-2275 kajushiken@pref.saga.lg.jp	
部会名	果	樹	専 門	栽 培	対 象
					ブドウ

[背景・ねらい]

「ロザリオビアンコ」は樹勢が強く、発芽率が低いため、発芽した新梢が不揃いとなりやすく、結実が安定しない。そこで発芽を促進するため、シアナミド剤（シアナミド 10%含有、商品名：CX-10）と浸透性展着剤（ポリオキシエチレンヘキサン脂肪酸エステル 50%含有、商品名：アプローチ BI）の混用処理および芽傷処理を組み合わせることで発芽率の向上効果を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 発芽率は、無処理区より芽傷及びシアナミド剤処理を行った区の方が高く、さらに浸透性展着剤を加えると発芽率はほぼ 100%となる。（図1）
2. 芽傷処理とシアナミド処理を併用することで新梢 1 本当たり1個以上の花穂数を確保できる。また、シアナミド剤に浸透性展着剤を混用することでさらに花穂数の増加がみられる。（表1）
3. 芽傷とシアナミド処理を併用した場合、無処理及び芽傷のみと比較して、糖度がやや低く、酸度が高い傾向にある。（表2）

[成果の活用面・留意点]

1. 今回の試験では、芽傷処理は 2 月 3 日、シアナミド剤処理は 20 倍に希釈して 2 月 4 日に行った。
2. 芽傷処理及びシアナミド剤処理は、樹液が出る前までを目安に行う。
3. シアナミド剤使用後 24 時間は飲酒をしないこと。
4. シアナミド剤は雨天時には使用しないこと。また、使用後に降雨のあった場合でも 2 度目の使用は行わないこと。

[具体的データ]

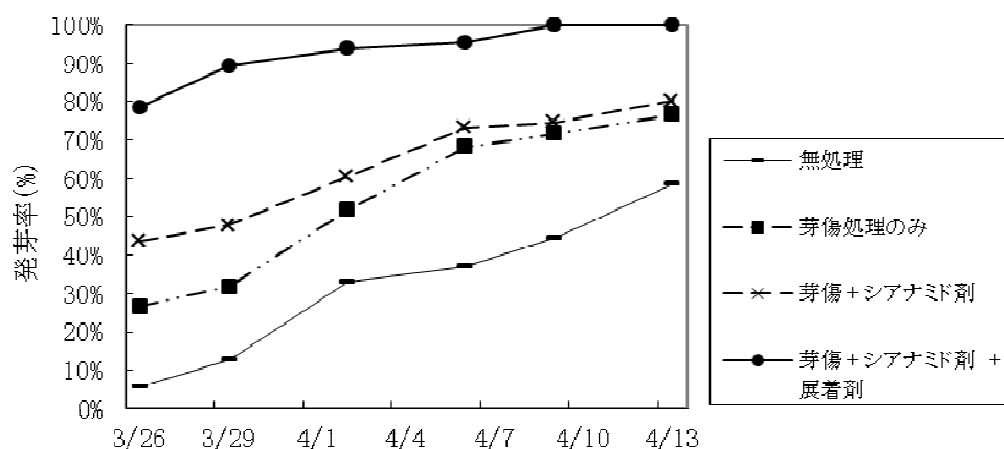


図1 シアナミド剤及び芽傷処理がロザリオビアンコの発芽率に与える影響

表1 シアナミド剤及び芽傷処理がロザリオビアンコの花穂数に与える影響

	新梢1本当たりの 花穂数(個)
無処理	0.8
芽傷処理のみ	0.9
芽傷+シアナミド剤	1.2
芽傷+シアナミド剤+展着剤	1.4

表2 シアナミド剤及び芽傷処理がロザリオビアンコの収穫時の品質に与える影響

	果房重(g)	粒数	1粒重(g)	果皮色 <sup>x)</sup>	糖度(%)	酸度(%)
無処理	486.3a <sup>y)</sup>	63.0a	8.1b	2.9a	18.2ab	0.42b
芽傷処理のみ	489.1a	66.8a	8.3b	2.8a	18.8a	0.43b
芽傷+シアナミド剤	476.6a	58.7a	8.8 a	2.4a	17.4b	0.54a
芽傷+シアナミド剤+展着剤	470.5a	62.6a	8.6 a	2.4a	17.4b	0.52a

x)果皮色は達観により5:良、3:中、1:不良として指数化

y)同一列内の異なるアルファベットは Tukey-Kramer の HSD 検定5%水準で有意差あり